

第2章 分野別計画

1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している

① 新たな事業活動の創出

現状と課題

- グローバル化や少子高齢化を視野に入れながら、成長が見込まれる新規産業の育成を図るための環境整備や、産業構造の多様化を推進する必要があります。
- 企業においては、産業構造の転換を新たなビジネスチャンスに変えるため、新分野進出、新事業展開など新しいチャレンジが必要となっています。
- また、新たに事業活動に取り組む創業者に対しては、その事業段階に応じた支援を的確に提供するため、関係機関が連携してアプローチしていく必要があります。

施策の展開

新産業創造プラットフォーム体制による一体的な支援

○創業から研究開発、販路拡大に至る各段階での企業ニーズにワンストップで対応するため、国や県などの行政機関、産業支援機関、市内金融機関、大学等研究機関と産学官金協働による一体的な支援により、新分野進出や新事業展開を図る意欲ある企業を支援し、新たな産業の創造を図ります。

関係機関と連携した研究開発・人材育成の推進

○富山大学芸術文化学部や富山県立大学、富山県ものづくり研究開発センターなどの大学等研究機関との共同により、高機能素材等の研究の推進や人材育成の促進などを図ります。

創業の掘り起こしと切れ目のない支援

○金融機関や産業支援機関と連携したネットワークにより、創業者の掘り起こしから自立までを一体的に支援する体制を拡充することにより創業件数の増加を図ります。

- 創業初期における事業所確保に対する支援として創業者等支援施設の提供や
空き工場の情報提供、空き店舗・空き家の活用補助を行います。
- 新たに創業しようとする意欲のある人に対して、高岡商工会議所等と連携し、
円滑な資金調達を支援します。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
創業件数（累計）	159 件	600 件※

※目標値は、H29～H33 の累計

主な事業	
新産業創造プラットフォーム体制による一体的な支援	・産業支援機関、金融機関、大学等の連携による 企業の新分野進出や新事業展開に対する支援
創業の掘り起こしと切れ目のない支援	・創業支援事業者との連携による創業サポート体制の強化

1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している

② 地域産業の競争力強化

現状と課題

- 高岡市は銅器、漆器などの伝統産業をはじめアルミを中心とする金属製品、化学工業、パルプ・紙などの産業が相まって、日本海沿岸を代表する工業都市として発展してきましたが、近年は、事業所数、従業者数、製造品出荷額等の減少など厳しい状況が続いています。
- 400年にわたって培われた高岡銅器、高岡漆器、菅笠などの伝統産業は、高岡市の特色ある産業として従来から振興が図られてきていますが、需要の伸び悩み等の問題に直面しています。
- 多様化する市場ニーズに応じた新技術・新製品開発や販路開拓等を図る取り組みを促進する必要があります。
- また、国内市場が縮小する中、海外販路開拓への取り組みを促進していく必要があります。

施策の展開

新産業創造プラットフォーム体制による一体的な支援(再掲)

- 創業から研究開発、販路拡大に至る各段階での企業ニーズにワンストップで対応するため、国や県などの行政機関、産業支援機関、市内金融機関、大学等研究機関と産学官金協働による一体的な支援により、新分野進出や新事業展開を図る意欲ある企業を支援し、新たな産業の創造を図ります。

新事業展開の促進

- 地域産業における技術開発などの高度化・多様化への対応を支援します。
- 地域資源^{※1}を活用した新商品開発や農商工連携^{※2}などに取り組む企業等を、関係機関と連携して支援します。
- 新技術・新商品・新サービスの研究・開発などに取り組む中小企業者の資金調達を支援します。
- 伝統産業界との協働で、時代のニーズに合った新商品開発・素材開発などに取り組む、伝統産業の活性化とデザイン開発力の育成を図ります。
- 文化財修理技術の向上や技術者の育成、保存修理活動への取り組みを支援するとともに、高い技術力のPRに努め、その産業化を推進します。

※1
産地の技術、地域の農林水産品、観光資源等。

※2
中小企業者と農林漁業者が連携し、お互いの経営資源を活用して、新商品や新サービスを生み出す事業への取り組み。

国内外への販路拡大支援と産業の魅力発信

- 産業支援機関等と連携し、国内外への販路拡大の取り組みや企業活動の国際化を支援します。
- 工芸都市高岡クラフトコンペなどのデザイン関連企画展の開催支援や、デザイン情報誌の発行などを通じて「ものづくり」をはじめとした高岡の産業の魅力の発信を図ります。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
新技術・新製品・新サービス開発件数（累計）	7 件	100 件※
伝統産業の生産額	12, 374 百万円/年	12, 670 百万円/年

※目標値は、H29～H33 の累計

主な事業	
新事業展開の促進	・ 中小企業の新技術・新製品開発、地域資源活用等の促進 ・ 文化財修理等の産業化の推進 ・ 新クラフト産業の育成、商品開発の研究 ・ 越中福岡の菅笠製作技術の維持・保全に向けた対策事業
国内外への販路拡大支援と産業の魅力発信	・ ものづくりをはじめとした産業の魅力の発信 ・ 工芸都市高岡クラフトコンペ等の開催支援

1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している

③ 産業基盤の整備・企業立地の推進

現状と課題

- 近年は、高度な技術により新たな事業展開を図る企業の取り組みや北陸新幹線開業が追い風となって、経済の好循環が持続するための環境が整いつつあります。
- 国際展開を見据え高速交通網や伏木富山港などを活用した物流機能の向上を図る必要があります。
- 高速交通網の整備にあわせて造成した大滝工業団地、四日市工業団地や今後整備する企業団地に首都圏、中京圏及び近畿圏等からの企業立地を促進する必要があります。

施策の展開

企業活動を活性化させる環境整備

- 市内企業の新たな事業活動を促進するため、企業団地やその周辺のインフラ整備を行います。併せて市内に立地する企業の周辺環境の整備に取り組みます。

企業誘致・立地の推進

- 新規企業の誘致や既存企業の拡張の受け皿として、企業の立地ニーズに対応した新たな企業団地の開発調査を行います。
- 高岡に集積する企業の魅力や産業支援施設の充実度をPRするとともに、企業の拠点強化も見据えながら支援・相談体制を充実させ、新たな成長分野や地元関連企業との取引活性化につながる優良企業の誘致を図ります。
- 高速交通網や伏木富山港などの社会資本を活かし、環日本海に開かれた物流の拠点化を目指します。

まちづくり指標

指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
企業団地への進出企業数（累計）	3 社	10 社※

※目標値は、H29～H33 の累計

主な事業	
企業活動を活性化させる環境整備	・ 既存企業の周辺環境整備
企業誘致・立地の推進	・ 新たな企業団地の造成 ・ 産業集積を活かした企業誘致 ・ 企業団地の分譲推進 ・ 立地助成制度等の推進（工場等の新・増設等に対する支援）

1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している

④ 中小・小規模企業の経営基盤強化

現状と課題

- 経営資源の確保が困難であることが多い中小企業、小規模企業について個々の課題解決や安定した経営の確保が必要となっています。
- 常に変動する金融環境に即応し、中小企業者や勤労者の要望に沿った融資制度の充実が求められています。特に、中小・小規模企業は大企業に比べ財務体質が脆弱であるため、資金の円滑な供給が求められています。
- 高岡銅器、高岡漆器などの伝統産業は、後継者不足等の問題に直面しており、400年以上にわたり培われてきた伝統技術の継承が課題となっています。

施策の展開

産業支援機関等と連携した経営支援

- 商工会議所、商工会等との連携によるセミナーの開催や専門家の活用により、経営の安定化、経営革新、事業承継を支援します。
- 産業支援機関や金融機関とのネットワークを活用した個別相談対応により、中小・小規模企業の課題解決を支援します。

充実した中小・小規模企業向け融資制度

- 中小企業の経営の安定・合理化、設備の強化等を支援するため、中小企業者向け融資制度の充実を図ります。
- 緊急的な資金需要や経営基盤の改善に資する融資制度の整備を図ります。

勤労者融資制度の充実

- 小口資金融資制度など、勤労者融資の充実を図るとともに、制度の啓発、普及に努めます。

伝統産業の後継者育成

- 伝統工芸産業ものづくり人材養成スクールや希少技術継承事業などを実施し、伝統技術の保存・継承と後継者の自立支援に努めます。
- 若手技術者の育成に資する「金屋鋳物師町工房（仮称）」を整備することで、人材の受入、育成、定着を促進します。
- 「ものづくり・デザイン科」を通じて児童・生徒の頃から伝統的工芸品や地域の特産品について学ぶことで、ものづくりの心を育てます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
専門家派遣利用企業数	11 件/年	11 件/年
伝統産業の技術・技法の継承者が市内企業等に定着する人数（累計）	1 人	5 人※

※目標値は、H29～H33 の累計

主な事業	
充実した中小・小規模企業向け融資制度	・中小企業向け融資の原資としての金融機関への預託
勤労者融資制度の充実	・勤労者等向け融資の原資としての金融機関等への預託
伝統産業の後継者育成	・伝統技術の保存・継承、後継者の自立支援 ・次世代型ものづくり人材の育成 ・金屋鋳物師町工房（仮称）の整備事業

1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している

⑤ 雇用・勤労者福祉の充実

現状と課題

- 若者の雇用を巡る動向は、失業率が全年齢層に対して相対的に高く、新規学卒者の就職後3年以内に離職する割合は長期的に減少傾向にあるものの、高い水準で推移しています。また、ニートといわれる若年無業者は60万人いるものと推計されています。
- 中高年齢者や障がい者の就業機会の創出と確保は増えている傾向にあるものの、未だ厳しい状況にあります。
- 少子高齢化の進行に伴い、労働力人口が減少する中、地域経済の振興を図るためには、企業がこれまで培ってきた優れた技術の継承や人材の育成、若年層や女性など新たな労働力の確保が必要となってきました。

施策の展開

若者の雇用の場の創出・就業促進

- 若者が高岡で就職できるよう企業と若者のマッチングを図ります。
- 市ホームページ等を活用して企業概要や合同就職面接会等の開催などの情報を発信し、UJIターン※¹就職等の推進を図ります。
- ニートなどの若者に対する相談やカウンセリングの充実を図り、働く意欲の喚起、職業的自立を促すなど、若者の就業促進に努めます。

中高年齢者・障がい者の雇用対策

- 中高年齢者の就業条件の整備や雇用の場の確保などについて、指導・啓発を図ります。
- 商工関係団体等と連携し、首都圏等の専門的な知識や技術をもつ中高年齢者と市内企業との雇用のマッチングを図ります。

※1

大学進学あるいは中学校・高校卒業時の就職で地方から大都市圏に出た後、再び地方に就業・移住すること。Uターンは出身地に、Jターンは出身地の経路にある地域に、Iターンは出身地と異なる地域に移ること。

○関係機関と連携を図りながら、障がい者の働きやすい雇用環境づくりに向けた啓発に努めるとともに、障がい者の雇用促進に努めます。

女性の雇用機会の充実・就業環境の整備

○企業に対し、男女雇用機会均等法等関係法令の周知・徹底を図るとともに、男女の均等な就業機会・待遇の確保や職場環境の改善、仕事と家庭の両立、女性の活躍推進の取り組みについての啓発に努めます。

職業能力開発機会の充実

○就業を促進するため、職業訓練機関等と連携し、様々な職業訓練の充実に努めます。

勤労者福祉の充実

○勤労者福祉サービスセンターへの支援や、中小企業者の退職金共済制度への加入を促進し、中小企業労働者の福利の向上と雇用の安定を図ります。

○勤労者の多様な余暇ニーズに対応できる環境づくりのため、勤労者福祉施設などの充実に努めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
合同就職面接会における就職率	12.2% (H25-H27 平均)	13.0%

主な事業	
若者の雇用の場の創出・就業促進	・ 合同就職面接会の開催 ・ 若年無業者の職業的自立支援（相談事業等運営団体への支援）
中高年齢者・障がい者の雇用対策	・ 中高年齢者及び障がい者の雇用促進 ・ 中高年世代等のUJIターン就職の推進
女性の雇用機会の充実・就業環境の整備	・ 女性の就労を促進するためのセミナーの開催
職業能力開発機会の充実	・ 技能者団体等への支援、職業訓練生養成の奨励

2 水・緑・食が豊かで暮らしにうるおいがある

① 農業の持続的発展

現状と課題

- 担い手の減少、後継者不足による耕作放棄地の増大が懸念されます。また、中山間地域では高齢化や人口減少が進展しており、生産条件も不利なことから、農林業以外の分野も含めて対策を講じる必要があります。
- 農業による所得の増大を図るため、コメと野菜、果樹、切花、農産加工品など、付加価値の高い農産品との複合経営を一層促進し、都市近郊型農業の確立を目指すとともに、6次産業化^{※1}を推進する必要があります。

施策の展開

農業生産基盤の整備

- 優良農地の確保に努めるとともに、農道や農業用排水路など、環境と調和した生産基盤の整備を図ります。

多様な担い手の確保

- 後継者不足が懸念されることから、食農教育の推進など農業の魅力を内外へ幅広く発信し、次代を担う人材の発掘・育成や法人化を支援します。また、新規就農者や女性など多様な担い手の育成・確保を通じ、農業者だけでなく、そこに暮らす人々が主役となる地域社会づくりを支援します。
- 里山が有する多面的機能を確保するため、中山間地域の活性化や農業振興を図ります。

安定的経営の確立と農地の有効利用

- 認定農業者や集落営農組織を育成し、農地中間管理事業などを活用することで、農地の利用集積を促進するとともに、高性能機械導入などの支援により、安定的な農業経営を促進します。
- 低コストで美味しい売れるコメづくり、より安全・安心なコメづくりに努め、高岡産米の競争力の向上を図ります。
- 麦・大豆・園芸作物等との組み合わせによる農地の高度利用による作付拡大を図るなど、生産性の高い水田農業の確立を図ります。

※1

農林漁業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）、流通・販売（第3次産業）にも主体的・総合的に関わり合うことで新たな高付加価値を創出して、農山漁村の活性化につなげていこうとする取り組み。

農業特産品の開発と地産地消の促進

- 食育の一環として市内の小・中学校に地元産米を活用した給食を供給することにより、学校給食の充実とコメの消費拡大を図ります。
- 野菜などの園芸作物の産地化と地産地消の推進及び流通機能の強化に努めます。また、学校給食などの食材として地元産の野菜や果実などの一層の利用拡大に努めます。
- チューリップ球根・切花、菅笠などの農業特産品の技術開発・生産振興を図るとともに、新たな農業特産品の開発に努めます。
- 農業センターを拠点として、農業に関する各種講座の開催、農産加工開発支援、朝市などのイベントを行うとともに、地域農業の振興・活性化に努めます。
- 国が掲げる農産品の輸出については、地域特性を勘案し、その情報収集に努めます。

6次産業化による食の開発やブランド化

- 生産から加工、販売・サービスまでの一貫した取り組みを支援して、高岡ブランドの開発を目指します。

畜産の振興・自然循環機能の維持増進

- 畜産農家の経営技術の改善に向けた普及指導、家畜伝染病の予防に努め、畜産経営の安定を図ります。
- 「高岡市バイオマスタウン構想」に基づき、家畜排泄物を有機肥料として土壌への還元を図ることで、地域循環型の有機農業の促進に努めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
担い手への農地集積率	61%	76%
6次産業化の新規事業取組者数（累計）	2人	5人※

※目標値は、H29～H33の累計

主な事業	
農業生産基盤の整備	・ 土地改良施設の整備、修繕
多様な担い手の確保	・ 中山間地域の農業活性化のための協定集落活動に対する支援
安定的経営の確立と農地の有効利用	・ 米品質向上のための機械・施設整備に対する支援
農業特産品の開発と地産地消の促進	・ 園芸作物の生産拡大に必要な施設整備に対する支援
6次産業化による食の開発やブランド化	・ 農業団体等の6次産業化の取り組みの支援
畜産の振興・自然循環機能の維持増進	・ 優良乳用牛の導入に対する支援、法定伝染病等の予防に対する支援

2 水・緑・食が豊かで暮らしにうるおいがある

② 農山村の振興

現状と課題

- 庄川左岸地区の基幹水路は、市内の農地をかんがいするほか、地域排水として重要な役割を果たしていますが、施設の老朽化に伴い、再整備が必要です。また、近年の上流域開発に起因する排水量の増大などによる浸水被害が懸念されます。
- 農村では、農業に従事する人の減少や高齢化、非農家との混住化が進行し、今後の農村周辺の資源や環境の保全が課題となってきました。
- 近年、耕作放棄地や雑木林の増加により野生鳥獣の生息域が拡大し、農林水産業被害が深刻化しつつあります。

施策の展開

農地防災の推進

- 災害から農地などを守るため、放水路、排水路の新設・改修や調整池の整備を行い、広域的な農地防災に努めます。

鳥獣被害防止対策の推進

- 農林水産業への被害を軽減するため、地域住民や関係団体との連携を図ります。

地域資源の保全

- 農地や農業用水などの地域資源を、将来にわたって良好な状態で保全管理します。また、農村景観の保全を図り、自然生態系と共生する快適で安全な農村を実現します。

都市・農村交流の促進

- 市民に農業体験の場を提供し、都市と農村の共生・交流と、幅広い人たちの参画を促進して、農業に対する理解を深める活動を推進します。

○グリーン・ツーリズム※¹などを通じて都市住民と農林漁業関係者などとの交流の促進と地域の活性化を図ります。

山村の振興

○「高岡市山村振興計画」に基づき、社会・生活環境の整備や都市農山村交流の促進、地域住民との協働により、中山間地域の振興に努めます。また、中山間地域の住民の高齢化など過疎化が進んでいる実態を踏まえ新たな取り組みに努めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
都市農村交流事業による交流人口	7,700 人/年	7,700 人/年

主な事業	
農地防災の推進	・ 調整池及び水利施設の整備
鳥獣被害防止対策の推進	・ 野生鳥獣による農林水産業への被害防除体制の整備 ・ 有害鳥獣の捕獲
地域資源の保全	・ 地域の農地の維持及び資源向上に係る活動の支援
都市・農村交流の促進	・ 農山村地域に定住し、農作業などに従事する若者の活動に対する支援
山村の振興	・ 五位山地域の有する資源を活かし、農山村と都市間交流の促進、地域活性化のための活動に対する支援

※1

緑豊かな農山漁村地域において、農林漁業体験を通じて、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

2 水・緑・食が豊かで暮らしにうるおいがある

③ 林業の振興

現状と課題

- 風雪害により発生した倒木の処理や利活用、過密となった人工林の間伐など、森林の再整備が必要です。
- 森林の持つ多面的機能の維持を図るため、地域住民や市民ボランティアとともに新たな森づくりを進める必要があります。
- 森林組合のさらなる経営基盤の強化を図る必要があります。

施策の展開

森林の多目的利用の促進

- 森林の持つ水源かん養、国土保全、二酸化炭素の吸収（地球温暖化の防止）などの機能の増進を図るとともに、森林施業の合理化と地域産材の利活用を図ります。

治山事業の推進

- 災害から市民の生命財産を守るため、森林資源の保全や治山事業を推進します。

森林の再整備

- 「高岡市森づくりプラン」に基づき、荒廃した森林の再造林や除伐・間伐等により整備を図るとともに、ボランティアの育成や市民との協働などによって、里山や森林の持つ公益的機能の維持・保全に努めます。
- 効率的な林業経営の展開や森林の再整備を図るため、林道や林業専用道の開設・改良などの整備を推進します。
- 森林組合等の行う森林の再整備に対して支援し、林業の活性化を目指します。

まちづくり指標

指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
里山の再整備面積	15ha/年	15ha/年

地域産業

主な事業	
治山事業の推進	・ 森林資源の保全や治山事業の推進
森林の再整備	・ 森林の再整備の推進、林道の整備

2 水・緑・食が豊かで暮らしにうるおいがある

④ 水産業の振興

現状と課題

- 海面漁業や内水面漁業は、いずれも小規模です。
- 鯉の養殖については、主要産地との価格競争、高品質輸入魚の急増、感染病対策等により、厳しい状況下にあります。
- 資源確保のため、ヒラメ、アユ等の稚魚の放流事業に取り組んでいます。

施策の展開

漁場環境の保全

- 漁業協同組合等が実施する栽培漁業、資源管理型漁業※¹を支援し、漁場環境の保全を図るとともに、特産品の開発や販路拡大を促進することにより、海面・内水面漁業の振興を図ります。

まちづくり指標

指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
アユ等の稚魚放流数	3,605kg/年	3,605kg/年

主な事業

漁場環境の保全	・ヒラメ・アユ等の稚魚の放流に対する支援
---------	----------------------

※1

地域や魚種ごとの資源状況に応じ、自主的な管理措置を導入して「魚を殖やしながらかつて」漁業形態。